

不動産・建設のデジタル変革リード

シンガポールに製品開発センター

レ
ン
ド
リ
ー
ス

レンドリースは、シンガポール経済開発庁（EDB）の支援を得て、約31億円を投資し、不動産と建設セクターのデジタル変革をリードする製品開発センターをシンガポールに設立する。10月までにオープンする予定で、初年度はテクノロジー、ソフトウェア、アプリケーション開発に携わる人材50人を採用し、今後数年間にわたってチームを拡充する。

同社のデジタル部門は、これまで米国のシリコンバレーと豪州のシドニーに開発拠点があった。同社アジアCEO（最高経営責任者）のトニー・ロンバード氏は「スマートな建物の生産プロセスの自動化を図る市場で、シンガポールがグローバル・イノベーションハブとしてその市場をリードする役割を担うことを大変うれしく思う」とコメントしている。



建設通信新聞

2020年09月23日 010面 01版 No.03